

地域連携推進会議 第一回議事録

一般社団法人楠の木会 のんのハウス五反野 NO.1

■開催概要

項目	内容
開催日時	令和 8 年 8 月 27 日（木）16:30～
開催場所	一般社団法人楠の木会事務所・のんのハウス五反野 GH
会議名	地域連携推進会議

■出席者

区分	人数
民生委員	1 名 Y 先生
利用者・ご家族	2 名（利用者 1 名 M 様・家族 1 名 M 様）
職員	3 名 管理者 S サービス管理責任者 K 支援員 T

■議事内容

●報告事項

会議資料に沿って、事業所概要、地域連携推進会議の目的、運営方針・支援体制、地域との連携状況、苦情・事故・ヒヤリハット・権利擁護、防災・BCP、利用者の普段の様子、レクリエーション報告について説明した。

事業所は定員 6 名で、現在は女性 4 名が生活している。利用者一人ひとりの意思と人格を尊重し、本人ができることは継続していただき、難しい部分を職員が支える方針を共有した。苦情・要望は、ごみ出しの場所および時間について 1 件の指摘があり、指定場所、分別方法、収集曜日を再確認し、適切なごみ出しを徹底している。

事故は 2 件で、外出中に道に迷った事案については、本人と家族へ相談し、本人の同意を得たうえで位置情報を確認できる機器を携帯することとした。入浴中の転倒については、受診と経過確認を行い、浴室および脱衣所に椅子を設置した。

ヒヤリハットは、職員不在時に利用者同士で対応を求める状況が生じた事案を報告した。対応手順の再周知、緊急連絡用電話の設置、職員配置および巡回方法の見直しを進め、主治医にも状況を報告した。

今年度、虐待に該当する事案はない。年2回の消防訓練、避難経路、非常口、備蓄品、緊急連絡体制の確認を行っている。

また、令和8年2月および8月に食事会を実施し、利用者同士の交流や公共交通機関を利用した地域での外出経験につながったことを共有した。その後、プライバシーに配慮しながら、共有スペース、水回り、住環境、防災設備および避難経路等を案内した。

■意見・質問

地域の方から見た事業所への印象、利用者が地域で安心して暮らすために必要な配慮、地域行事・見守り・災害時協力など今後連携できること、施設見学で気になった点について意見交換を行った。

■回答・説明

利用者の意思と主体性を尊重し、食事、体調確認、服薬確認、生活相談、金銭管理、清掃、洗濯等について、本人ができることを活かしながら必要な部分を職員が支援していることを説明した。地域からの意見を運営改善に活かし、関係機関との情報共有と地域との顔の見える関係づくりを継続する。

■決定事項

本会議では、事業所からの報告および地域関係者との情報共有を中心に実施し、新たに決定すべき事項はなかった。

■対応事項・担当・期限

新たな対応事項はなかった。苦情・事故・ヒヤリハット等の再発防止策を継続し、地域との連携を深めていくことを確認した。

■次回予定

次回の地域連携推進会議については、日程を調整のうえ、関係者へ別途案内することとした。